

令和元年度 原田清流クラブ

(生きがいデイサービス・健康づくりデイサービス) 事業報告書

1. 運営状況の概要

富士市からの委託を受け、生きがいデイサービス事業を行った。介護予防・日常生活支援総合事業として健康づくりデイサービス事業も一体的に行った。

本年度は、健康づくりデイサービスを利用されていた方で、認知症などの理由で「要介護1」の認定を受けて退会された方が4名、逝去された方が1名いた。新規入会者は2名いたが、全体の利用者数は減少している。また3月は、新型コロナウイルスの影響で、半月以上サービスを休止せざるを得なかった。

2. 事業計画実施状況

(1) 職員資質の向上のために

① 職員信条について

職員信条を遵守する事で、高い意識と自覚のもと業務にあたった。

② 研修について

外部の研修や内部研修へ積極的に参加し、自己研鑽に努めた。
出席した主な外部研修は以下の通り。

7月	健康づくりデイサービス・生きがいデイサービス従事者研修	富士市保健部 高齢者支援課主催
11月	富士市介護予防・日常生活支援総合事業サービス事業所研修会	同上
2月	吉原中部地域包括支援センター圏域内他職種連携会議	吉原中部地域包括支援センター主催

(2) サービスの向上に向けて

① 相談援助などの生活指導

利用者及び家族とのコミュニケーションを重視し、気軽に相談を寄せて貰えるような関係づくりに努めた。また、利用者が家族と良好な関係を保ちつつ、自宅で快適な生活を送ることができるよう、高齢者地域支援窓口や地域包括支援センターと連携をとりながら、できる限りの支援を行った。

②レクリエーション・趣味活動他

利用者の希望や趣向を取り入れたプログラム内容を実施することにより、利用者が楽しみながら活動に参加し、自ら介護予防にむけた主体的な取り組みを行うことができるよう支援した。

また、日常生活でもできるような介護予防運動を毎回行い、利用者の全身の機能の向上に努めた。

③健康状態の確認

個々の利用者の身体的な特徴を事前に把握した上で、毎朝利用開始時に健康状態を確認し、サービス提供中も常に気を配った。

健康面に不安のある利用者に関しては、施設内の医務、主治医や歯科医師とも連携をとる体勢で臨んだ。

④利用者とのコミュニケーション

利用者と積極的にコミュニケーションをとり、利用者が主体的に事業へ参加するよう働きかけた。

⑤送迎

送迎を必要とする場合は、施設車輛にて自宅から施設まで送迎を行った。

⑥その他

介護技術の進歩に合わせた、適切な介護予防が行われるよう配慮した。

(3) 広報

① 近隣の方々に事業を知ってもらえるよう、原田地区の回覧板に、生きがいデイサービス・健康づくりデイサービスの案内チラシを入れた。

② 高齢者地域支援窓口の担当者が「いきいきサロン」等の高齢者の集まりに出向いた際、生きがいデイサービス・健康づくりデイサービスの紹介をした。

③ 生きがいデイサービス・健康づくりデイサービスの利用者の方に、まだ生きがいデイサービス・健康づくりデイサービスを知らない友人がいれば声をかけていただくようお願いした。

令和元年度 原田清流クラブの行事等

4月	お花見
5月	中央公園バラ園見学
6月	歌と踊りのボランティア(ゆりの会)
7月	外出(朝霧高原道の駅)
8月	歌と踊りのボランティア(ゆりの会)
9月	福祉展出品物の製作
10月	福祉展見学
11月	芋煮会
12月	クリスマス会
1月	羽子板作り、福笑い
2月	寿司バイキング
3月	お花見